

Art Camp 2024

# drama

TOKYO KASEI UNIVERSITY Art&Design

2024

9.28 sat —————> 9.29 sun

2: 目次

3: 開会式

4~5: ひかりをみつける展

6~7: なんかいる 2

8~9: アート RE クローゼット

10~11: 一息家

12~13: To Bloom

14~15: 心弦

16~17: Let's パッチ♡ウォ〜ク

18~19: つなげる つながる そしてつづく

20~21: 服飾美術学科  
Furi T coordination

22~23: 児童教育学科結城ゼミ  
Sparking Colors Dramas

24~25: ジャズ研究会  
ジャズ小路

26~27: 森のサロン 色をひろげよう

28: インテリア

29: ステージ

30~31: 当日の様子

32~33: アートキャンプ本部紹介

34: 本部長の言葉

35: 巻末

Art Camp 2024

テーマ:

drama

アートを通じて人と出逢い、  
繋がり、一つの物語を展開する。  
日常の何気ない一コマがアートに。





# 開会式



本部が発足した当初は3人しかメンバーがいなかった中、開催までに多くの方が参加してくださり、無事に開催することができました。その喜びと感謝を本部長が述べ、いよいよ2024年度アートキャンプ「drama」が幕を開けました。自分たちの活動を通じて生まれた様々な“drama”に思いを馳せながら、この場で新たに生まれる“drama”もきっと良いものになることを、ともに願いました。







01

# ひかりをみつける展

リーダー 森 彩 夏  
宮沢 真由子  
山口 詩乃  
村 松 盟  
中 野 優希  
庵 原 萌  
關根 満理奈  
舞 谷 祐衣  
照 井 彩 愛

どんなプロジェクト？

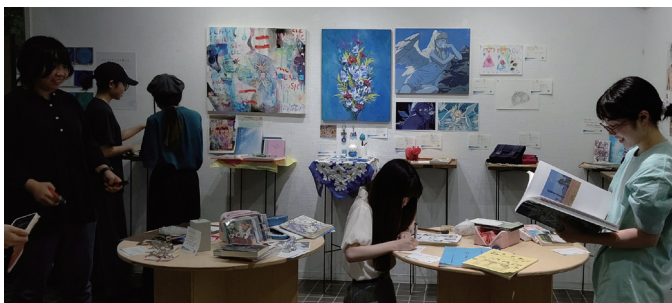
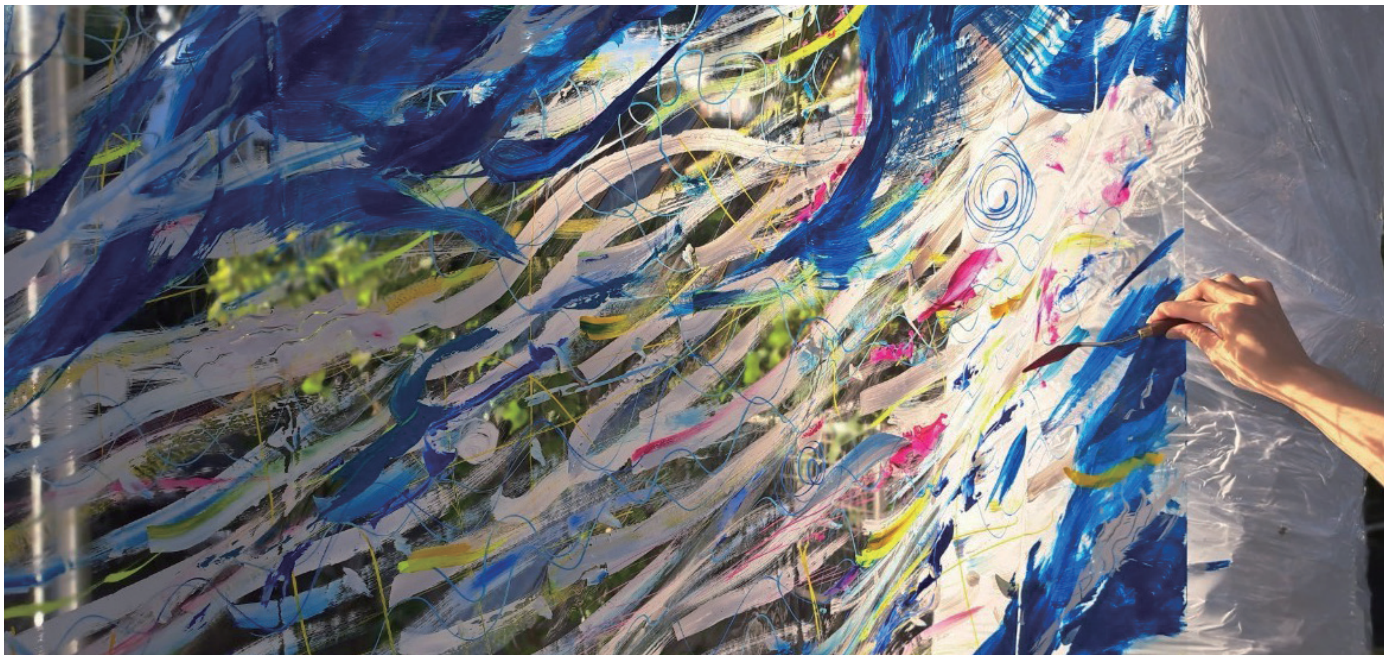
ひかりをみつける展は、メンバーが個人的に表現活動に興味を持った学生を誘い、「ひかり」をテーマにさまざまなアプローチで企画・制作した、新しい形のグループ展です。合計3章に分けて活動しました。

やり遂げた感想は？

第1章はメンバー私物展「ひかりのかげら展」を開催しました。今まで自分を導いてくれた大事なものをひかりのかげらと称し展示をすることで、鑑賞者とのつながりを感じ、新たなひかりが生まれたことを実感することができました。







第2章はインスタレーション「煌晰」を制作し、色の情報に頼らない作品の制作に挑戦しました。過酷な炎天下の中5日間かけて野外で制作し、天候によるトラブル等乗り越えて完成したときの達成感は忘れられません。公開制作中に通行人は興味を持って見てくれたり、当日実際に通ってみたりする様子など、作品に人が集う様子を見ることができよかったです。

第3章はライブドローイング「結照」を行いました。憩いの広場に透明なビニールテーブルクロスを支持体にして公開制作をしました。幅は5メートルある巨大な支持体にメンバーがアドリブでひかりを描き、これもまた挑戦的な試みでした。

開催当日は、メンバーの個人制作作品と、第3章までの作品を展示し、集大成としました。常にメンバー同士のリスペクトとテーマに対する想いがあったからこそ実現できた企画でした。メンバーのみんな、大木先生、ありがとうございました！





02

# なんかいる2



## どんなプロジェクト?

なんかいる!と思わず声を上げてしまふような見てワクワクするようなアート(ようかい)を校内に出現させました。また、陶芸ワークショップを通して色々なアートの形があることを伝えられるように活動しました。

## やり遂げた感想は?

「なんかいる2」は、昨年度アートキャンプに参加してくださったみなさんはご存知の通り、「なんかいる」を新しいメンバーで再度立ち上げたものになります。プロジェクトの引き

|                           |                         |                            |                           |
|---------------------------|-------------------------|----------------------------|---------------------------|
| リーダー<br>須田 大岸 田 稲 保 日 島 濱 | さくら 純 咲 里 凜 円 月 花 結 衣 桜 | 松浦 濱野 小幡 川上 乙幡 佐藤 木村 加藤 浅川 | ゆず 彩花 桜良 理渚 優綾 結 結 えみり 美冬 |
|---------------------------|-------------------------|----------------------------|---------------------------|





継ぎを行なったのはアートキャンプ  
史上初となり、〃人との繋がりを大切  
にしよう〃と考える今年度のテーマ  
「drama」にぴったりのものとなっ  
たのではないかと思います。

プロジェクトを引き継いでいるとい  
うこともあり、アートキャンプ開催前  
から学科内での認知度が高く、昨年度  
の活動が大盛況であったことから参加  
してくださった来場者の方には「なん  
かい2に参加したくてアートキャ  
ンプに来ました。」というありがたい  
言葉もいただくことができました。

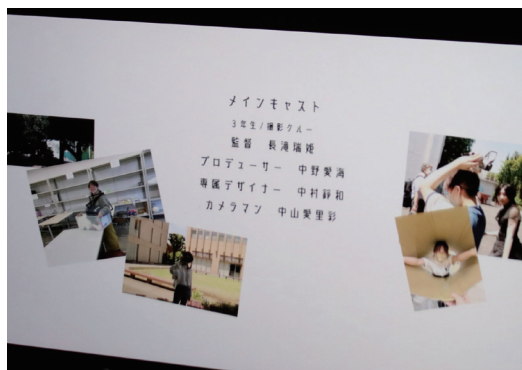
怪我をすることなく無事に！安全  
に！仲良く！楽しく！というプロジェ  
クト内での目標を大いに達成すること  
ができたのではないかなと感じていま  
す。たくさんご協力してくださった担  
当教員の高田先生、鳴海さん、そして  
メンバーのみんなには感謝の気持ちで  
いっぱいです。本当にありがとうございます  
でした。ここで見つけた大切な仲間  
たちとの繋がりをこれからも大切にし  
ていきます。ピース。





03

# アートREクローゼット



どんなプロジェクト？

古着×映像企画。学内から回収した古着を使用して、インスタレーション作品と来場者特典のお渡しを行いました。インスタレーションでは、古着で作成した大きなオブジェに映像を投影する作品を展示したほか、服飾美術学科とコラボした古着リメイク作品の展示も行いました。古着の生地を使用した缶バッジを目の前で一緒に作成しお渡しする企画を行いました。

やり遂げた感想は？

今年も昨年の経験を活かし、同じメンバーでプロジェクトを計画・運営していきました。

リーダー  
長 滝 瑞 姫  
中 野 愛 海  
中 村 鈴 和  
中山 愛里彩  
遠山 そゆな  
高 橋 美 海  
蓮 本 望 夢

亀 山 生 希  
中 尾 理 汐  
曾 明 ひかり  
酒 巻 樹 音  
日 下 部 由 依  
濱 谷 ゆ ら ら





昨年とは違う活動として、学内全体を対象とした「古着回収」を行いました。回収に向けて5月頃から申請や準備を進め、学生や先生、十条銀座の古着屋さんからも協力していただき、約120着の古着を回収することができました。今までに経験したことなかった申請等では苦労しました。実際に初めて古着が提供された時はとても感動し、メンバー全員でガッツポーズをしたのはいい思い出です。この活動は、学校全体にアートキャンプを広めるという今年の目標にも貢献できたと感じています。

また、今年は昨年よりも制作物を拡充させました。映像を投影するオブジェや古着缶バッジ制作など、様々な作品制作を企画しました。人手不足かつ限られた時間の中、服飾美術学科の学生、1、2年生や先生方の協力を得て企画を実現することができ、プロジェクトの幅が広がりました。ご協力いただいた皆様、来場してくださった方々、ありがとうございました！





04

# 一息屋



## どんなプロジェクト？

次のドラマへと繋ぐ場所として一息つけるような空間を制作しました。アートキャンプ当日だけでなく制作過程においても様々な「繋がり」を感じることのできるプロジェクトです。

## やり遂げた感想は？

運営を通して最も苦労したことは選択をしなければいけなかった数多くの場面で、決断するタイミングが遅くなってしまうことです。それにより制作過程で変更点が沢山出過ぎてしまい、その都度メンバーにもやりにくさを感じさせてしまったと思います。しかし、学年関係なくメンバーがそれぞれ

|           |        |     |   |
|-----------|--------|-----|---|
| リーダー      | 鈴木 菜々美 | 藤 本 | 桃 |
| 笠 井 秀 帆   | 前 納    | 千   | 智 |
| 稲 光 円 彩   | 戸 谷    | 陸   | 愛 |
| 小 澤 理 音   | 菊 池    | 純   | 玲 |
| 越 智 夏 都   | 曾 根    | 綾   | 香 |
| 五 島 穂 乃 歌 | 石 崎    | 瑠   | 璃 |
| 森 穂 乃 歌   | 孫 入    | 春   | 華 |
| バーゲバーン小梅  | 小 泉    | 夕   | 渚 |
| 後 町 希 実   | 鈴 木    | 伽   | 音 |
| 高 橋 望 恵   | 山 崎    | 花   | 恵 |





れやりたいことや、やって欲しいことに対して積極的に行動してくれたこともあり完成までたどり着くことができました。

アートキャンプ当日は制作した空間で子ども達が絵を描いていたたり飛び回っていたり、来場者の方々やスタッフがそれぞれ思い思いに過ごしている姿を見ることができ達成感を感じることができました。また、昨年制作した「いろどり茶屋」やキャンパスの豊かな自然とも繋がるような空間を制作でき、一息家を通して様々な繋がりを感ずることができました。

そして、何よりも実際に思い描いていたものが原寸として形となり、ものづくりの面白さ、やりがいを改めて実感することができました。

最後に、構想から完成まで頭と身体をフル活用しながら一緒に活動してくれたメンバーの皆さん、そして、様々な過程でご指導をしてくださった手嶋先生をはじめとした先生方、本当にありがとうございました！





# 05 To Bloom



リーダー

辺見 羽 琉  
益子 周 音  
村上 大 空  
村幡 優 綾  
乙野 凜 香  
高優 衣  
東崎 七 海  
杉浦 美 有 希  
池齋 ま ど か  
安藤 沙 果  
伊廣 澤 萌

どんなプロジェクト？

「大切な人へ想いを届けるフラワーショップ」をテーマに、かぎ針編みで制作した花の空間展示を行いました。また、テーマにちなんで大切な人を思い浮かべてミニ花束を作るワークショップも行いました。

やり遂げた感想は？

今回プロジェクトを一から考えて運営していくことが初めてでした。企画を決めているときに先生方と話し合いをする機会があり、その中で、「このプロジェクトに参加することによって、何か気持ちに変化がおこるような内容にする」と先生からアドバイスを





いただきました。その言葉を胸に、参加して意味のある内容になるようにたくさん試行錯誤し、最終的にワークショップでは大切な人へのミニ花束を作るという内容に決定しました。メンバーも増え、夏休みは大量の花を制作しました。夏休み明けからも変更点がいくつかあり、ギリギリまで試行錯誤を繰り返しました。当日が近づくにつれ不安な気持ちがありました。いざ当日を迎えるとたくさんの方に来ていただいて、ワークショップにも多くの方が参加してくださって嬉しい気持ちでいっぱいです。また、私たちが考えた企画にたくさんの方に来ていただけたことに、今まで味わったことがない達成感を感じました。テーマにある「大切な人へ想いを届ける」という、私たちがこのプロジェクトに込めた思いが、来ていただいた方にも伝わっていると思う場面もあり、今まで大変な道のりでしたが、たくさんの方に支えられて素敵なプロジェクトになったと思います。





06

# 心弦



どんなプロジェクト？

挫折をテーマに、主人公が出会いを通じて自身と向き合い、新たな一歩を踏み出す物語を描く書道パフォーマンス。音楽やナレーションと共に進行し、作品をダイナミックに制作します。

やり遂げた感想は？

今回のプロジェクトを運営する中で、さまざまな学びと挑戦がありました。書道パフォーマンスにアートや演劇の要素を加えるという新しい試みに取り組んだことが挙げられます。従来の書道パフォーマンスと異なり、音楽やナレーションといった要素が加わる

リーダー  
松田七海  
鷺巣加奈美  
横川愛絃  
佐藤茉莉





ことで表現の幅が広がり、その調和をどう図るかに悩むことも多かったです。最初はお互いの役割分担や、書道の動きと演劇の要素の融合に苦労しましたが、練習を重ねることでチームとしての連携が強まり、最終的には一体感のあるステージを披露することができました。また、限られた時間や用紙の中でどれだけインパクトを与えられるかを考えることが、表現方法を広げるきっかけとなりました。時間の制約がある中で、どこに重点を置くかを決めるのは難しい作業でしたが、その分無駄を省くことにより、より強いメッセージを伝えることができたと思います。運営面では、スケジュール管理や資材の調達などで苦労しました。特に、限られた予算と時間の中で最適な素材を選ぶことに難しさを感じましたが、アイデアを出し合いながら柔軟に対応できたことが成果につながったと感じます。

この経験を今後の活動にも活かしていきたいと強く感じています。





07

# Let's パッチ ♡ウ オ〜ク

リーダー

|    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|
| 田尻 | 香花 | 松森 | 下本 | 亜琴 | 樹羽 |
| 目黒 | 好瑠 | 濱  | 岡  | 涼  | 花  |
| 石崎 | 陸愛 | 漆  | 畑  | 優  | 花  |
| 常永 | 真美 | 土  | 屋  | 理  | 紗  |
| 徳大 | 野紗 | 會  | 澤  |    |    |

どんなプロジェクト？

布を使って、人と人が繋がる物語をコンセプトに、芝生の上で布を結んでいくワークショップや学生がパッチワークした布を持って校内を練り歩くパフォーマンスも行います。人の繋がりを作品を通して表現しました。

やり遂げた感想は？

最初は何も分からないまま進行せねばならず、どうしたら良いか試行錯誤を繰り返していました。沢山の人に迷惑をかけてしまいましたが、先輩や先







生、頼れる助手さんのアドバイスによって何とか計画が進行しました。またなかなか人が集まらなかった、どうやってこの先やっていけばいいのだと詰まってしまった時は、みんなと協力し進めていきました。

何とか形になってワークショップやパフォーマンスを楽しんでもらえたと思います。しかし二日目に雨が降ってどちらも中止になってしまった時は、話し合い、即興のワークショップを行いました。布で作るてるてる坊主や子供達に三つ編みしてあげるなどの活動を通して、別の形で人と繋がることができました。

来てくれた方々と楽しい時間を過ごせたこと、これが何よりもよかったことです。カラフルな布は小さい子供たちにとっては恰好の的のような遊び道具、そして芝生という広々とした場所で、笑顔を見せる彼らこそが今回最も良い収穫と言えます。





08

# つなげる つながる そして つづく

リーダー  
堤 夏 凛  
鮑 元 歩 生  
羽 田 和 帆  
原 田 華 帆  
若 林 環 季

どんなプロジェクト？

古着の切れ端の入ったキットを学内の方々に配り、個人でコラージュをしてもらいました。その布を大きな布に縫い付けたタペストリーを展示しました。また、古着を利用した支持体にラ イブペイントを行いました。

やり遂げた感想は？

このプロジェクトは、ただ捨てられていってしまう古着で何かできないかという考えから始まったものです。学内の方々に配った布は、手のひらに収まるほどの大きさでした。その布を縫い付けていく度に大きくなっていく様子や、完成したタペストリーには人との







強い繋がりとパワーを感じられました。  
来場していただいた方々とプロジェクトについてお話ししたり、小さな子にビーズ付けを楽しんだりしてもらえたこともやりの一つです。しかし、プロジェクトメンバーの人数や、混み具合の関係で来場者全員にプロジェクトについて話せた訳ではありません。展示についての概要や制作の経緯などを記したキャプションを置いておくべきだったと思います。

また、完成したライブペイントは、後日、ナナイチギャラリーで展示を行いました。完成した作品を鑑賞してもらうこと、プロジェクトの存在や意義について知ってもらうきっかけになりました。

一年生だったからできた失敗と成功は山ほどありました。どんどんやりなさいと背中を押し、支援してくださった岡本先生、途中ながら参加させてくださった本部の皆様、ありがとうございました。





09

# 服飾美術学科参加企画 Furi T coordination



どんなプロジェクト？

各自でスタイリングを考え、そのイメージに適したグラフィック（イラストや画像など）をちりめん地の着物風のTシャツにプリントし、衣服に仕立てました。

やり遂げた感想は？

今回、服飾美術学科が造形学科主催のアートキャンプに参加し、たくさんの気づきがありました。まず、参加したクリエイティブいあふれる企画に感化され学生自身が自由に表現できた

リーダー  
長 井 麻 稀  
榎 本 悠 花  
高山 木 日 萌  
中 村 優 里





ことが良かったです。学生同士がアイデアや意見を交換し高め合いながら熟考し、時には縮緬の布の特性や縫製の特性を理解したうえでデザインを決めることなど「FuriT」ならではの苦労もありました。展示物の制作は個々の作業ですが、完成という同じゴールを目指す共同作業でもあります。これらを通じ、改めて表現の楽しさを知ることができ、良い経験になりました。

アートキャンプは、来場者の方に服飾美術学科を知ってもらえるきっかけとなり、興味を持ってくださった方々とコミュニケーションをとれたことも印象に残っています。

改めて、服飾美術学科と造形学科の「クリエイイト」という共通点を大事にし、作品の展示や合同イベントなど交流を広げて行けたら良いと思います。





10

# Sparkling Colors Dreams

児童教育学科結城ゼミ参加企画

鳴那 凜梨花 春  
玲 萌 智希小  
木田 島岸内野  
青池 中根宮沼

どんなプロジェクト？

「炸裂する色達の夢」をテーマに、色水が入った水風船を壁に投げて色を広げ、模様を作り、参加者と共にアート作品を創り上げました。それぞれの人生の色を表すように、様々な色水を使いました。

やり遂げた感想は？

最初は「どんな作品が出来上がるのか」、「お客さんが来てくれるのか」等心配な点が多くありましたが、実際にアートキャンプが始まると多くのお客さんが来てくださり、一緒に作品を作り上げることができて嬉しかったです。良かったことは、お客さん同士で







一体感を感じられたことです。風船を投げるというシンプルな動作は年齢関係なく楽しめるため、子どもから大人まで誰もが気軽に参加できました。また、偶然の色や形の広がりが生み出すダイナミックな表現は、計画的な絵画とは異なり、その場のエネルギーや感情を反映しており、見る人にも新鮮な驚きを与えました。完成した作品をみんなで共有した際、共同作業が形として残る達成感が大きな喜びとなりました。苦労した点は、水風船がなかなか割れなかったことと、色水の濃さを調整することです。水風船は当初、壁に投げたらすぐに割れるものだと思っていましたが、意外にも強度があったため、作品の後ろから画鋲を刺し、それに当てて割るという形に急遽変更することになりました。

色水の濃さは、濃すぎても色が混ざって汚くなってしまう、薄くても白の背景に映えなくなってしまうなど、ちょうどいい濃さを作り出すのが大変でした。





11

# ジャズ研究会

ジャズ小路

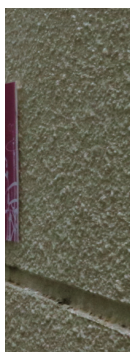
リーダー  
高橋つぐみ  
北村涼  
岡部紗矢  
澤田琴美  
横内香奈  
伊藤愛姫  
平田愛奈  
加藤舞彩  
萩原愛結  
徳永真美  
渡辺明日香

どんなプロジェクト？

公認サークルジャズ研究会です！  
アートキャンプではステージを用意していただきジャズの楽曲を演奏いたしました。さらに今年はオリジナルジャケット展「ジャズ小路」を発表いたしました！

やり遂げた感想は？

今回はメンバーのやりたい曲を中心にセトリリストを組みました！楽しい曲と恰好が良い曲でまとまった発表になったと思います。恰好いい曲は今回ほぼ初挑戦でしたが、しっかり発表するところまで持って行けたと思います。ジャズ研究会ではテーマというメ







インメロディーを元に自分たちで曲を構成し演奏するのですが今回メンバーの曲に対する意識が向上し、いつもであれば1人が意見して終わってしまう所なのですが、みんなで意見交換しながら練習することができました。当日は雨天のため外での演奏はできなかったことがどうしても残念でしたが、無事本番を迎えられて、元氣よく演奏することができてよかったです。

また、「ジャズ小路」については、ジャズ研究会は絵を描くことを得意とした人が他と比べて多くありません。そのため、最大限努力はしましたが、作品数が少なくなってしまったのが悔しいと感じました。しかし、目的である「音楽系サークルもアートで参加する」「メンバー同士で曲のイメージを共有する」は達成できたと思います。実際に見に来てくださったお客さんから「こんなところにも作品がある」と驚いてもらったことは狙い通りでした！





12

## 森のサロン 色をひろげよう

田口理恵（講師）  
清水幸  
山田智美  
中川路潤子  
吉村侑莉  
森隅成美

どんなプロジェクト？

1号館前の芝生ひろばで、大きな画用紙やキャンバスに、子どもたち、大人たちと色を塗り重ねていくワークショップです。素材、人、自然と一緒に体験する場所を共有しましょう。

やり遂げた感想は？

色を塗り重ね、自分の世界に深く入り込んでいく事、また、描いていく事で周りの人とながつていく事を体験していききたいと思います。

子どもたちの興味関心を持つ力から、素材、人、自然と一緒に体感する場所を共有したいと思い企画しました。





アートキャンプでの森のサロンワークショップでは、毎回、感動と学びでいっぱいです。

芝の上にクラフト紙で養生をし、キャンバスや模造紙を並べ、絵の具やクレヨンで描画しました。素材・人・自然と一緒に体感する場となったらいいなと思っています。

あなたは何を感じている？

どんなことをやってみたい？

指で絵の具をそっと広げる、

両手のひらでダイナミックに広がる、

足をつかって大胆に、

霧吹きに夢中になって、

「その色かして」と尋ねてみる…

あらわれてくる表現一つひとつを受けとめる保護者の方、スタッフのみなさん、子どもたち。のびのびとあたたかく、やわらかい空間がありました。毎年同じ表現はなく、毎年新しい発見があります。



13

# インテリア





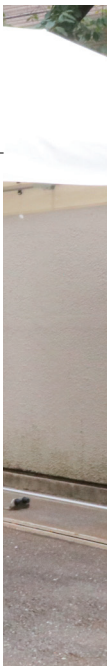


# 14 ステージ





# 開催当日







## Art Camp 2024 drama

### 当日の様子

東京家政大学板橋キャンパスにて開催されたアートキャンプは、晴天の下、多くの参加者が集まり、大いに賑わいました。また、学生、地域住民、アートに関心を持つ一般の方々が一堂に会し、さまざまなワークショップや展示を通じて創造性を発揮する特別な機会となりました。キャンパス内に設置されたアート

ブースがオープン。キャンパスペインティング、陶芸体験、ジャズ研究会や軽音サークルによる生演奏、書道サークル参加の「心弦」によるパフォーマンスなど、各プロジェクトには早速多くの参加者が訪れ、ワークショップでは思い思いの作品づくりに取り組んでいました。来場された子どもたちは自由に表現を楽しみ、

大人たちは技術を学びながら真剣な表情で制作に没頭する姿が見られました。憩いの時間には、一息屋でゆったりとした時間を楽しむ参加者が目立ちました。午後には、午前中に制作された作品が特設ギャラリーに展示され、多くの来場者がその個性豊かな作品に

足を止めました。充実感に満ちたフィナーレを迎えました。

世代や背景を越えた人々が交流し、創造の楽しさを共有する素晴らしい場となりました。この日生まれた作品や絆が、新たな挑戦や未来の活動につながることを期待しています。







# マネジメント部

須田さくら 中山愛里彩 日下花  
小島望花 椋澤実乃里

どんな活動内容？

アートキャンプに参加するプロジェクトやサークルのサポートとして、書類や活動の管理をしていました。他にも全体説明会やプロジェクトやメンバー募集、当日は主にステージの管理をしました。

やり遂げた感想は？

マネジメント部はほぼほぼ3年生5人で真面目にかつ楽しく、活動しました。

## ア

ートキャンプ  
2024では、  
「マネジメント  
部」「構成部」「広報部」  
の3部署で本部が構成さ  
れました。

3年生を中心とし、1、2年生のメンバーとも協力してそれぞれの部署がアートキャンプ当日に向けて準備を重ねました。当日も本部はイベントの運営を中心とした活動を行いました。そんな本部について紹介します。

## 本部紹介

ま

「ま」じでバランスのいい5人！

みんなでやるべきことを補い合って5人全員で真面目な1人が出来上がるみたいな部署でした！だから楽しかったし学びにもなった！（はな）

ね

「ね」むーいお腹すいたー今日の夜ごはん何がいいかなー！そんな会話ばかりしていると見せかけてやることはしっかりやる素敵なメンバーたちでした。こんなリーダーに最後までしっかりついてきてくれてありがとう。みんなの支えがあってこそやり遂げられました！（さくら）

じ

「じ」ぶんにマネジメントの仕事ができるのか不安でしたが、皆の寛容さとフレンドリーな雰囲気のおかげで楽しく活動できました！役に立っていたらいいな…と思います。（みのり）

めん

「めん」ばーみんなで助け合いながらお仕事ができました！当日は臨機応変にスケジュールを組んでなんとか大成功！本当にご協力ありがとうございました！！（もか）

と

「と」にかくみんな仕事が早くて、協力的だったので特に問題もなく進めることができました！このメンバーと活動できて良かったです。ありがとうございました！（ありさ）

どんな活動内容？

## 構成部

中野愛海 乙幡優綾  
高橋つぐみ 小尾琴音  
奥原亜美花 濱岡らら  
須賀心美 小高瑚奈

会場内の導線計画を立てたり、各プロジェクトの配置を考え調整していました。また、構内に設置するフラッグやステージの横断幕の企画・作成・配置を手掛け、受付の準備・運営の担当も受け持っていました。当日設置されていた会場MAPも作成しました。





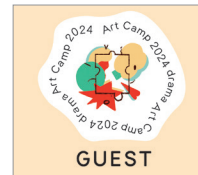
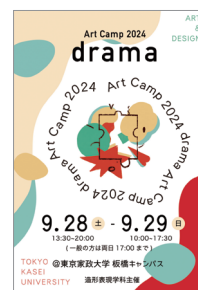
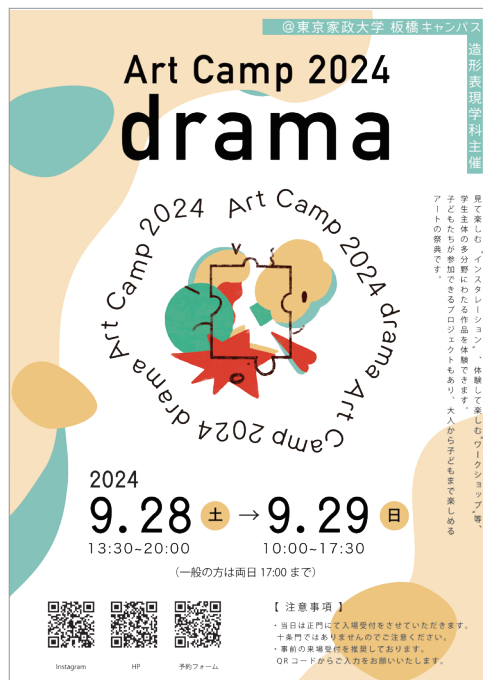
# 広報部

**どんな活動内容?**

ポスターやDM、パンフレットなどの印刷物や、インスタグラムやホームページなどのSNS媒体を使用した広報活動を行いました。デザインから発注までも学生が主体となっていました。当日は会場内の撮影担当を担い、イベント終了後には冊子制作も担当しました。

**やり遂げた感想は?**

とにかく先を見越した計画が大事だと感じました。また、メンバーの活動への理解と仕事のはやさありきの活動でした。



山口詩乃 中村鈴和 千葉七海 立木晴菜 高橋穂華  
濱仲咲良 石塚佑子 伊藤沙果 曾根綾香 黒部涼花  
鈴木春花 菊池純玲 桑原葵 重富美由希

# 統括

須田さくら 中野愛海  
山口詩乃 中村鈴和  
高橋つぐみ 中山愛里彩  
日下花







## 本部長の言葉

アートキャンプ 2024「drama」を終えて皆様は何を思いましたか。  
また、どのように感じましたか。  
「やっと終わった。」これが私の正直な想いです。

2月にたった3人の本部が発足してからこれまで楽しいことも大変なこともたくさんありました。どのようにアートキャンプを作りあげて行けば良いのか、先の見えない日々正直不安になる事も多くありました。今になって振り返ってみると、このような不安を抱くのは当たり前でありアートキャンプという大きなプロジェクトに真剣に真っ向から向き合っていたからこそ抱いた感情であったのだと思います。本部の皆様やプロジェクトで参加してくださった皆様、改めて本当にお疲れ様でした。

たくさんの方々が関わって一緒にアートキャンプを作り上げてくれたこと。

たくさんの素敵なお方々にアートキャンプを通して出逢い、関係を築けたこと。そんな素敵なお方々とプロジェクトを成し遂げられたこと。全てに感謝の気持ちでいっぱいです。

ここで見つけた大切な仲間たちとこれからも「drama」が続いていくことを願っています。

本当にありがとうございました。

2024 年度アートキャンプ ”drama” 本部長

須田 さくら





## 当日来場者数内訳

|      | 28 日          | 29 日  |
|------|---------------|-------|
| 予約受付 | 64 名          | 126 名 |
| 当日受付 | 造形表現<br>学科の学生 | 33 名  |
|      | 他学科の学生        | 2 名   |
|      | 家政大職員         | 11 名  |
|      | 外部の方          | 43 名  |
|      | 記入なし          | 6 名   |
|      | 計             | 159 名 |
|      | 合計            | 271 名 |
|      | 430 名         |       |

アートキャンプ当日は2日間で430名ものお客さまにご来場いただきました。内訳は左記の通りです。今年度も造形表現学科の学生の方はもちろん、他学科や外部から来てくださる方々も多く、たくさんの人々が助け合い、アートを楽しみ、大変盛り上がるイベントとなりました。

HP



Instagram



発行 2025 年 1 月 30 日

印刷所 美創企画

## 冊子制作スタッフ

アートキャンプ2024 広報部

|      |       |      |
|------|-------|------|
| 山口詩乃 | 濱仲咲良  | 鈴木春花 |
| 中村鈴和 | 石塚佑子  | 菊池純玲 |
| 千葉七海 | 伊藤沙果  | 桑原 葵 |
| 立木晴菜 | 重富美由希 | 曾根綾香 |
| 高橋穂華 | 黒部涼花  |      |

ロゴデザイン製作者 黒沢凜々子



